

教科目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解したうえで、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分析と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数量の関係や法則などを考察したり、数学的な推論の過程に着目して図形の性質や関係を論理的に考察し表現したりすることができる。また、関数関係に着目し、表、式、グラフに関連付けて考察したり、データの分布やその傾向を比較して批判的に考察したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりすることができる。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりできる。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※ [] 内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1章 文字式を使って説明しよう [式の計算] 【15時間】	①・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	定期テスト 単元テスト 提出物
5		②・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	
		③・文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式] 【12時間】	①・二元一次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。 ②・一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立二元一次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	定期テスト 単元テスト 提出物

6		<ul style="list-style-type: none"> ③・連立二元一次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・連立二元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立二元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
7	3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] 【19時間】	<ul style="list-style-type: none"> ①・一次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・一次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 	定期テスト 単元テスト 提出物
		<ul style="list-style-type: none"> ②・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ③・一次関数の必要性和意味を考えようとしている。 ・一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
9	4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同] 【15時間】	<ul style="list-style-type: none"> ①・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 	定期テスト 単元テスト 提出物
		<ul style="list-style-type: none"> ②・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ③・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
10	5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形] 【21時間】	<ul style="list-style-type: none"> ①・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・定義やことからの仮定と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。 	定期テスト 単元テスト 提出物
		<ul style="list-style-type: none"> ②・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・証明を読んで新たな性質を見出し、表現することができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげるることができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ③・証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
11	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率] 【9時間】	<ul style="list-style-type: none"> ①・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。 	定期テスト 単元テスト 提出物
		<ul style="list-style-type: none"> ②・同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 	

12		<ul style="list-style-type: none"> 確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ③ 場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
1	7章 データを比較して判断しよう [データの比較] 【5時間】	<ul style="list-style-type: none"> ① 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。 	定期テスト 単元テスト 提出物
		<ul style="list-style-type: none"> ② 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ③ 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
2	1年間のまとめ 【9時間】	<ul style="list-style-type: none"> ① 1年間で学んだ基礎的な概念や原理・方法を理解し、処理することができる。 	定期テスト 提出物
		<ul style="list-style-type: none"> ② 1年間で学んだ内容を論理的に考察したり表現したりすることができる。 ③ 1年間で学んだ内容について問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	
3			

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考査 1章～2章	2 学期中間考査 3章～4章	2 学期期末考査 4章～5章	学年末考査 5章～7章
-------------------	-------------------	-------------------	----------------

学習上のアドバイス

<授業について>

- ① 「聞く・書く・考える」というメリハリをしっかりとつける。発問、質問を積極的にする（挙手する）。自分の質問はみんなの質問だと思って遠慮なくしましょう。
- ② 問題を解く時は、時間内で解き終わるように頑張りましょう。終わったら近くの人と確認し、分からなかったら解き終わった人や先生にヒントをもらうようにしましょう。

<家庭学習のアドバイス>

- ① 宿題に必ず取り組む。：習ったことを確実に定着させるためにも、宿題に取り組む必ず提出しましょう。
- ② 復習する。：その日に学習した問題を家で繰り返し解き、できるようにしましょう。また、問題集やスタディサプリにも取り組みましょう。

<その他>

- ① 忘れ物をしない。：忘れ物をすると学習が滞り授業に集中できず、自分が困ることになります。
- ② 提出物の期限を守る。：提出物は基本的に評価材料にするため、期限に遅れないように、また指示された通りしっかり取り組みましょう。不足の場合は再提出を求めることもあります。また期限遅れは減点対象になります。
- ③ 学習の定着度を確認するため、単元テストを適宜行います。いつ、どの内容かは予告しますので、準備しておきましょう。